

# 坂東太郎



## 大変すばらしい 6年生を送る会でした

今年度の「6年生を送る会」を、先週3月1日（金）に無事実施することができました。6年生を送る会は、コロナ禍において大きな影響を受けた行事の一つです。体育館はかなり大きな空間ですが、全校児童が集まるには少し規模が小さく、6年生を送る会はこれまで学年を分けて実施したり、ブロックごとの入れ替え制にしたりして対応してきました。今年度は、5月に感染症法上の扱いが5類に移行となり、コロナ以前の形で実施することも期待されたのですが、コロナだけでなく、むしろそれ以上にインフルエンザ等その他の感染症がはやり、歌や踊りがあるような活動で全校児童が集合することには不安がありました。そこで、今年度は、入れ替え制には違いありませんが、1・2・5・6年が参加する前半と3・4・5・6年が参加する後半との2部制の形にしました。6年生は主役なので当然前後半とも出席、5年生は送る会の運営係として同じく前後半出席し、1・2年と3・4年を前後半で入れ替えるという形でした。1～4年生は、自分が参加しなかった方について、オンラインにより教室の電子黒板で観覧しました。結果的には、全体として密集した状態になることがなく、かつ各学年が出し物をするスペースが十分確保され、終始落ち着いた雰囲気の中で送る会が進みました。

6年生は、5年生がリコーダーで『威風堂々』を演奏する中体育館に入場しました。その後各学年の趣向を凝らした出し物が披露されました。

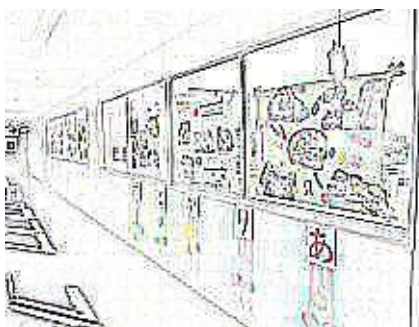
各学年の出し物は以下の通りです

- ① 2年生：音楽物語 スイミー
- ② 1年生：くじらぐも
- ③ 6年生：雨にもマケズ
- ④ 3年生：ありがとう6年生
- ⑤ 4年生：6年間の思い出をふり返ろう！
- ⑥ 5年生：かがやけ 6年生
- ⑦ 6年生：坂東小の思い出と大切なもの

※ 6年生は前後半2回行いました。



前日作業(体育館の飾り付け)



校舎(渡り廊下)の飾り付け



体育館の飾り付け

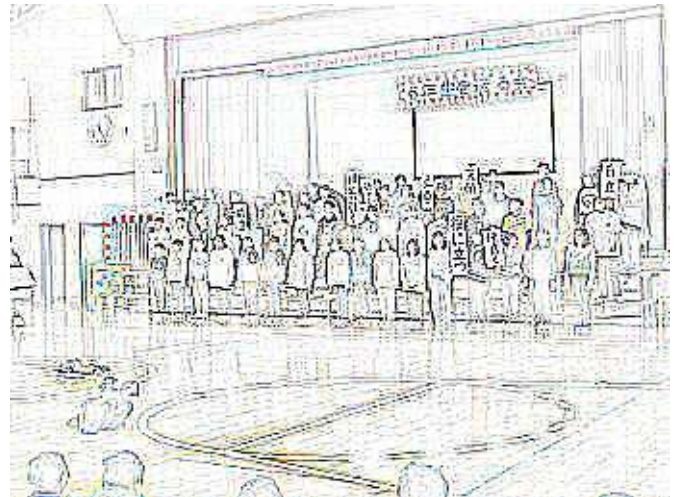


6年生の入場

会場（体育館）は、前日までの作業により大変きれいに、温かみのある空間として飾り付けられました。そうした会場で披露された各学年の出し物も心のこもった、完成度の高いものでした。最後に披露された6年生の合唱は、70名に届かない人数で歌っているとは思えないほどの迫力があり、大変見事なものでした。聞いていて思わず涙が出そうになりましたが、恐らく同じような教職員がたくさんいたと思います。子供たちの光り輝く姿がたくさん見られた、大変すばらしい6年生を送る会でした



5年生の出し物：かがやけ6年生



6年生の出し物：坂東小の思い出と大切なもの

◎ 6年生も含めて全学年の出し物が終わり、最後に校長から次のような話をしました。

最後の6年生の歌が大変すばしらかったです。あまりに良くて、少し涙が出てしまいました。まだ、心が落ち着きませんが、これからお話をします。

各学年とも大変すばらしい出し物でした。また、大変あたたかい送る会でした。6年生の皆さんは、懐かしいお話や懐かしい曲がたくさん出てきたのではないのでしょうか。

6年生を送る会の会場となっているこの体育館も、南校舎から北校舎への渡り廊下も、大変きれいに飾り付けられています。6年生は当然分かりますと思いますが、昨日5年生が一生懸命準備をしてくれました。5年生の皆さん大変ご苦労様でした。今日の各学年の出し物、5年生の準備作業、どれも大変すばらしいものでしたが、それらはみんな6年生がこれまでにお手本として示してくれたものです。それがしっかりと引き継がれているのです。ですから6年生は、このことに大きな誇りを持って坂東小を巣立って行ってください。皆さんのこれまでの頑張り、今日の送る会の成功という姿につながっているのです。6年生の皆さんは是非誇らしく思ってください。5年生～1年生の皆さんは、6年生の後をしっかりと引き継いで行ってください。

さて、今日から3月です。今年度も残り一月となりました。6年生は卒業式までもう一月を切っています。4月からのステップアップを目指して、各学年とも最後までしっかり学校生活を送りましょう。送る会に向けた頑張りを次の活動でも生かしましょう。

最後になりますが、今日は皆さんが光る姿をたくさん見ることができました。6年生も1年生から5年生も、指導してきた先生方も、大変ありがとうございました。大変すばらしい6年生を送る会でした。

## 文部科学大臣メッセージの配布について

政府は、平成18年に施行された自殺対策基本法に基づき、毎年3月を「自殺対策強化月間」と位置づけ、援助を求めるに至った悩みを抱えた人が、必要な支援を受けられるよう、支援策を重点的に実施することとしています。この強化月間及び新年度までもう少しという時期に合わせて、文部科学大臣のメッセージが届きました。児童用と保護者・学校関係者用を両面印刷したものを配布いたしますので、ぜひ親子でお読みください。

学校では、今後も子供たちの心に寄り添った指導を目指し、子供たちが一人で不安や悩みを抱えるようなことがないよう努めていきたいと思っております。